

平成 28 年 1 月 19 日

各位

京都大学東南アジア研究所長
河 野 泰 之

東南アジア地域研究情報資源の共有に関する国際ワークショップの開催について（通知）

京都大学東南アジア研究所は、本年度設立 50 周年を迎えました。

節目となる本年度、本研究所図書室では「東南アジア地域研究情報資源の共有をめざしてー いま、ライブラリアンから伝えたいこと ー」と題する国際ワークショップを企画いたしましたので、関係各位への周知展開にご協力いただきますようお願い申し上げます。

告知サイト

<http://www.cseas.kyoto-u.ac.jp/databases/sealibdb/ws2015/>

日時：2016 年 2 月 19 日（金）10:30 - 17:00

場所：京都大学 稲盛財団記念館 大会議室

主催：京都大学東南アジア研究所

後援：京都大学図書館機構

本ワークショップでは、機関や国を超えて内外地域研究拠点のライブラリアンと地域研究者が参加し、東南アジアの逐次刊行物を主とする地域研究資源情報の共有化システム構築を目指して、情報の共有と連携可能性を検討し、ライブラリアンの側から地域研究の場に対して現状についての警鐘を鳴らすとともに、将来への提言を行います。

午前中のセッション 1 では、国内外の東南アジア研究拠点の研究者・ライブラリアンが、それぞれの機関における多言語書誌目録の現状について報告を行います。午後からのセッション 2 では、地域研究情報資源が、現在どのような問題に直面しているのか、その共同利用・共同保存にむけた途はいかにあるべきか、について、地域研究者とライブラリアンによる研究の成果報告をもとに検討します。

本ワークショップ開催に合わせて、東南アジア各国から図書館員・図書館情報学研究者の方々が来日します。また、国内各機関から図書館員・図書館情報学研究者ほかが参加します。多言語データベース、シェアードプリント、デジタル化著作権処理、マイクロ資料保存等々さまざまな話題が飛び交いますので、国内外の図書館間交流・情報交換の絶好の機会になるかと存じます。

ワークショップは参加自由（配布資料 100 部を用意）です。また、閉会後に、カクテルパーティ形式で交流会を予定しております。

交流会 17:30～18:30 稲盛会館中会議室（会費 1000 円）

皆様方におかれましては、ご関心・ご都合にあわせて、ご参加をお待ちしております。



ASEAN JAPAN

東南アジア逐次刊行物データベース

新聞や雑誌などの逐次刊行物は、社会・時代背景を反映する一次情報源として、地域研究には必要不可欠な資料です。しかし、東南アジア諸国において、また日本においても、これら貴重な資料が、劣化や廃棄により散逸の危機に瀕しています。
わたしたちは、国・組織の枠組みを超えて、図書館員や研究者が地域研究資料を共有できるシステムの構築を目指しています。

東南アジア地域研究情報資源の 共有をめざして

—いま、ライブラリアンから伝えたいこと—

セッション 1: 多言語書誌目録による情報共有をめざして

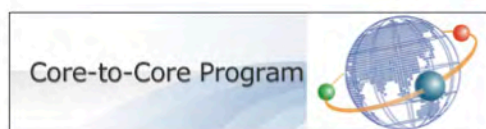
セッション 2: 多様な媒体による共同保存・利用への途

2016年2月19日(金) 10:30~17:30

京都大学稲盛財団記念館 大会議室

参加無料、事前登録不要

日本語 ⇄ 英語・各国語通訳あり



2015 年度地域研究コンソーシアム次世代支援企画

公開サイト <http://cseas.net/sealibdb/ws2015>



主催：京都大学東南アジア研究所

共催：京都大学地域研究統合情報センター、地域研究コンソーシアム (JCAS) 「地域研究次世代ワークショップ・プログラム」

協力：科学技術振興機構 (JST) 「日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)」

日本学術振興会研究拠点形成事業 (JSPS) 「新興 ASEAN 諸国の移行期正義と包括的發展に関する研究交流」(代表：中西嘉宏)

東南アジア研究所「共同利用・共同研究拠点」(IPCR) 「東南アジア地域研究情報資源としての新聞の媒体変換による長期保存と共有化に関する基礎研究」(代表：小島浩之)

東南アジア研究所「共同利用・共同研究拠点」(IPCR) 「逐次刊行物総合目録データベース作成によるベトナム研究者間の地域研究情報共有化に向けて」(代表：宮沢千尋)

日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究 (C) 「インドシナ3国逐次刊行物データベースによる機関横断型ネットワーク構築の研究」(代表：大野美紀子)

日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究 (B) 「『図書館資料保存論』に関する基礎的研究」(代表：小島浩之)

後援：京都大学図書館機構

お問い合わせ：京都大学東南アジア研究所図書室 TEL：075-753-7306



東南アジア地域研究情報資源の 共有をめざして

—いま、ライブラリアンから伝えたいこと—

2016年2月19日(金) 10:30～17:30

京都大学稲盛財団記念館 大会議室

参加無料、事前登録不要

日本語 ⇄ 英語・各国語通訳あり

10:00 開場

10:30 開会挨拶 河野泰之（京都大学東南アジア研究所・所長）

10:40 趣旨説明 大野美紀子（京都大学東南アジア研究所・助教）

11:00～13:00 セッション1：多言語書誌目録による情報共有をめざして
司会：大野美紀子

報告1「東南アジア諸国における多言語書誌目録の現状報告」

- (1) Le Thi Lan（ベトナム・社会科学通信院）
- (2) Ni Win Zaw（ミャンマー・ヤンゴン大学図書館情報学科）
- (3) Manoluck Bounsihalath（ラオス・国立農林業研究所政策センター）
- (4) Yun Hak（カンボジア・王立農業大学図書館）
- (5) Sivaporn Uthaisa（タイ・タマサート大学図書館）

報告2「日本における多言語書誌目録による情報共有の取り組み」

- (1) 加藤さつき（東京外国語大学附属図書館）
「目録データの共有と多言語対応
—日本の現状と東南アジア地域研究資料の課題—」
- (2) 木谷公哉（京都大学東南アジア研究所・助教）
「小規模多言語図書データベース構築の構想紹介
—東南アジア逐次刊行物総合目録データベースを通じて—」

質疑応答

13:00～14:00 休憩

14:00～16:00 セッション2：多様な媒体による共同保存・利用への途

司会：小島浩之（東京大学大学院経済学研究科・講師）

- (1) 村井友子（ジェトロ・アジア経済研究所図書館）
「地域研究情報資源としての新聞の保存と利用：
アジア経済研究所の事例から」
- (2) 石川一樹（東京大学附属図書館）
「東京大学における学内共同保存・共同利用への取り組み」
- (3) 石岡克俊（慶應義塾大学大学院法務研究科・准教授）
「図書資料の共同保存・共同利用の法的論点」

質疑応答

16:00～16:10 小休憩

16:10～17:10 総合討論

17:10 閉会挨拶 柴山守（京都大学 ASEAN 拠点所長）

《会場》



○JR京都駅より

市バス(4, 17, 205系統)：「荒神口」下車、バス停より東に徒歩5分

○京阪本線 神宮丸太町駅より

北に徒歩5分

《お問い合わせ》

京都大学東南アジア研究所図書室

〒606-8501

京都市左京区吉田下阿達町46

TEL : 075-753-7306 Fax : 075-753-7364

E-mail : libinfo@cseas.kyoto-u.ac.jp